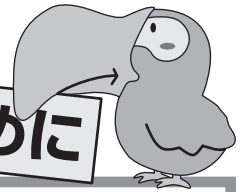




## 本書の特長と使い方



## はじめに

論理力を鍛える魔法のトレーニング **ろんり de 国語**

**ホップ**



国語は全ての科目の基礎で、国語力や論理的思考力を高めれば、全ての科目の成績を引き上げることができると言われています。また、それらの力は、これからの時代にますます必要とされています。

このテキストはそれらの力を育成・強化するために何年もかけて作られたものです。そして、「これを利用すれば、確かな国語力と論理的思考力が習得できる」ことが実証されています。このテキストで学ぶにあたって皆さんは次のことに留意してください。

### このテキストの使い方

#### ①説明をしっかりと読む

まず**〔基本の学習〕**をしっかりと読んで理解しましょう。大切なところに赤線を引きながら読むのがよいでしょう。

#### ②トレーニングの問題に挑戦！

**〔基本の学習〕**を理解したら、次はトレーニングの問題に挑戦しましょう。その際、字は一字一字丁寧に書きましょう。

#### ③総合問題に挑戦！

各ステージのトレーニングが終了したら、総合問題に挑戦しましょう。

トレーニングをしっかりとやった人なら、必ず満

点が取れるはずです。

#### ④トレーニングノートの利用

このテキストには別冊として、トレーニングノートがあります。このノートを使ってこのテキストを何回か繰り返し読むのがよいでしょう。

#### ⑤ステップやジャンプへの挑戦

ホップを完全にマスターしたら、次にステップやジャンプに挑戦しましょう。それらをやり遂げれば、本物の国語力や論理的思考力を身につけることができます。

▼これらの学習を通じ、皆さんの国語力がぐんぐん伸びることを期待しています。



# ろんり de 国語 ホップ

## もくじ



ステージ 1 主語と述語 ..... 4

〔基本の学習〕 文・主語・述語

トレーニング① 二文節の文中から主語・述語を探す ..... 5

トレーニング② 三文節の文中から主語・述語を探す ..... 8

トレーニング③ 主語と述語をつないで書く [1] ..... 10

トレーニング④ 主語と述語をつないで書く [2] ..... 12

トレーニング⑤ 主語と述語をつないで書く [3] ..... 14

ステージ 1 主語と述語 総合問題① ..... 16

ステージ 2 助詞 ..... 18

〔基本の学習〕 助詞

トレーニング① ふさわしい助詞を選ぶ ..... 18

トレーニング② 二文節の文に助詞を入れる ..... 19

トレーニング③ 三文節の文に助詞を入れる ..... 22

トレーニング④ 三文節以上の文に助詞を入れる ..... 26

チャレンジ問題 A

チャレンジ問題 B ..... 30

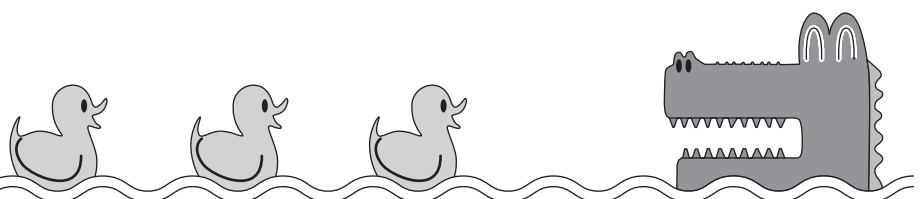
ステージ 2 助詞 総合問題② ..... 34

ステージ 3 接続語 ..... 36

〔基本の学習〕 いろいろな接続語

トレーニング① 接続語を使って文を作る ..... 37

トレーニング② 一文を二文に分ける ..... 42



トレーニング③ 接続語選びスピードトレーニング ..... 45

ステージ③ 接続語 総合問題③ ..... 48

ステージ④ 指示語 ..... 50

〔基本の学習1〕 指示語の基礎

トレーニング① 文章中からことばを抜き出す [1] ..... 51

トレーニング② 文章中からことばを抜き出す [2] ..... 54

〔基本の学習2〕 答え方の注意点 ..... 58

トレーニング③ 文を少し変えて答える ..... 59

ステージ④ 指示語 総合問題④ ..... 62

ステージ⑤ 上質な文章を書く ..... 64

〔基本の学習1〕 上質な文章を書くための留意点

トレーニング① 上質な文章に直す ..... 65

〔基本の学習2〕 正しいカタカナの使い方 ..... 70

トレーニング② 正しいカタカナの使い方

〔基本の学習3〕 正しい数字やひらがなの使い方 ..... 74

トレーニング③ 正しい数字やひらがなの使い方

〔基本の学習4〕 書きことばに使う接続語 ..... 78

トレーニング④ 上質な接続語の利用

ステージ⑤ 上質な文章を書く 総合問題⑤ ..... 82

ホップ 総まとめ問題 ..... 84



ステージ

1

主語と述語

まずは、文の中にある述語を見つけましょう。



学習日



基本の学習

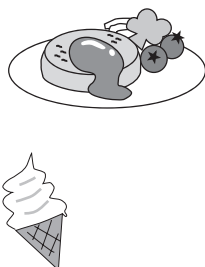
文・主語・述語

(1) 文とは

ことばをつづり合わせて、まとまった内容を表したものを「文」といいます。

文の例

- ① 私は国語の勉強が大好きです。
- ② あなたの好きな食べ物は何ですか。



(2) 主語とは

ふつう、文には「何が」「誰が」という内容を表すことばが含まれています。このテキストでは、そのことばを含まれたまりを「主語」と呼びます。「主語」と表します。

**主語**を言ひかたまりの最後には、「は」「が」といふかたまりがみえきあ。

例

- ① 象が／歩く。
- ② 耳のところがった猫が／寝ている。
- ③ 私の妹は／来月から／小学生です。

(3) 述語とは

ふつう、文には「どうする」「どんなだ」「何だ」という内容を表すことばが含まれています。このテキストでは、そのことばを言ひかたまりを「述語」と呼びます。「述語」と表します。

例

- ① 黒い犬が／寝ています。
- ② あの猫は／おとなしい。
- ③ ほくの弟は／小学二年生です。



(4) **主語と述語の見つけ方**

日本語の文では、主語が省かれていることがよくあります。そのため、先に**主語**を見つけてるのは難しいものです。

一方、**述語**はふつう、文の最後にあるので見つけやすいものです。そこでこのテキストでは、「**述語を先に見つけて書き込み、その後、それに合う主語を考える**」という順で答えていく仕組みになっています。

〈例〉

お母さんが／笑っていました。

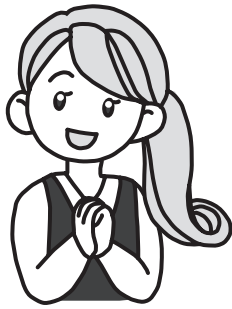
**述語** 笑っていました

←

誰が笑っていたの？

←

**主語** お母さん



トレーニング 1 **二文節の文中から**  
**主語・述語を探す**  
 学習日

▼に続く文について、まず**述語**を見つけて書き、次に**主語**を書きましよう。また**主語**がない場合は、「なし」と答えましよう。習っていない漢字はひらがなで書いてもかまいません。

① **述語** 〔 〕

**主語** 〔 〕

▼ケンタは／走りました。

② **述語** 〔 〕

**主語** 〔 〕

▼ユミは／笑っています。

\*〈おことわり〉

このテキストは国語力を高めるためのもので、文法の学習書ではありません。よって、このテキストで使う「文節」という言葉は文法上の文節とは異なります。

ステージ  
2

助詞

基本の学習 助詞

助詞とは

他のことばの後に付いて、語句の関係を表すことばです。助詞には、「が」「も」「を」「へ」「から」「に」「は」などのことばがあります。

例

私が山小屋に着いたとき、マリは富士山を見ました。

トレーニング 1

ふさわしい助詞を選ぶ

学習日

次の文の( )の中で、ふさわしい助詞を○で囲み、全文を読みましよう。

① 空には、茶色(の・に)ワシ(の・が)飛んでいます。

助詞を正しく使って文をつくらう



学習日

② 私(は・に)今、本(に・を)読みたい。

③ 私たち(を・は)年に一度、あの学校(を・に)集まります。

④ ぼくたち(の・は)、よく公園(で・へ)サッカーをして遊びます。

⑤ 私(の・は)友人(を・は)、妹(と・に)よくけんかします。

⑥ ケンタ(より・の)家(は・と)、駅(で・へ)向かう道(に・へ)面しています。

⑦ トモミ(を・は)髪(が・へ)長い。

⑧ ケンジ(は・と)ハヤト(より・から)物知りだ。

トレーニング 2

二文節の文に助詞を入れる

学習日

例< にならって、ことばの後に下の助詞を補って、文を完成させましょう。なお、文の最後には句点(。 )を付けましょう。文の途中の読点(、)は付けても付けなくてもかまいません。習っていない漢字はひらがなで書いてもかまいません。

も は が

例

私 / 歩きます

私	は	、	歩	き	ま	す。
---	---	---	---	---	---	----

**注意**  
 マス目の最後に句点(。 )がくるときは、この場所に句点をうちます。

①

▼ エリコ / 走りました

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

②

▼ ケント / 笑っています

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

③

▼ お母さん / 怒りました

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

④

▼ おばあさん / 泣いていました

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

⑤

▼ 男の子 / 寝ていました

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--